

一 韓国での学び

今年の四月、私は家族とともに韓国を訪れた。その目的は、義務教育を終え、自分の意思と責任で、人生を創造する歩みを始めた長男に、次の二つの契機を用意することであった。

一つは、自分の身分証明書（パスポート）を発行する日本という国家の歴史と現在を見直すための契機。もう一つは、人間が作った北緯三十八度線と対峙する兵士のそばで、日本では実感しにくい、国の境を引くという人間の行為の意味を問うための契機である。

日本という国に生まれ、育てられ、教えられ、身につけた自己認識（アイデンティティ）。それを、長男が自ら力で再構成するために、自国が半島で行ってきた痕跡を辿り、他国と他者を支配することの誤りと愚かさを学び取って欲しい。さらに、そこで生活する人達の言葉を通じて、いかに対立する歴史を持つ国の人であっても、互い

アイデンティティ再構成の契機に

馬居 政幸

に知り合い、学び合い、教え合うことが、どれほど素晴らしいことであるかを感じて欲しい。そして、言葉と文化が異なる人達と、共に生きることの価値と覚悟を培って欲しい。

また、国家というシステムは、あくまで人間の創造物であって、人間を越えた特別なものではなく、常に作り変えるべき制度であること。その必要性和重要性を自覚して欲しい。

これが、社会科教育研究の職にある私が、未来を生きる長男への歴史教育として、契機を用意する”という言葉と行為に込めた思いであった。

二 戦後史という区分の虚しさ

長男は一九七七年、オイルショック

の四年後に生まれた。一九四九年生まれの私が教わった戦前の昭和史が、戦後の民主化と冷戦下の高度経済成長の時代に相当する世代といえる。

また、戦後教育の中核として社会科が誕生したのは一九四七年九月、あと四年で五十周年。そして、社会科発足時の五十年前とは、一八九七年、日清戦争が終わって二年目の年である。

この二つの事実から、私は今なお戦後史という枠組がテーマとなること自体の虚しさを感じざるをえない。歴史教育は、学習者が生きる世界、すなわち学んだ者が自己の判断と責任で創造すべき未来にとっての意味と、どれほど格闘してきたか。学校という世界に閉じこもり、定められた知識を教えることのみを執心してこなかったか。

問うべきは、学習者に対してではなく、社会科歴史教育自体の未来像とアイデンティティの再構成ではないか。

《静岡大学教育学部助教》

特集 新しい見方で組み立てる「戦後史学習」

「1ページ意見」戦後史学習をつくるキーワードは何かと問われたら……九
戦後をふり返れば未来が見えるに加藤 章／復讐の切り口を工夫した戦後史学習に
布沼利昭／民族と宗教で新しい戦後史を有田和正／憲法に読む「信託」「契約」の理念に小
池俊夫／平和と森脇健夫

「1ページ討論」戦後史学習で軸にしたい歴史観とはと問われたら……四
人々の生活に焦点を合わせて田淵五十生／生活上と人権発達史に伊東亮三／民族と地
域を視点に歴史を見るに金子邦秀／変化の事実を明確に駒井 健／平和を根幹にした戦
後史学習を山本典人

「1ページ提案」戦後史学習でどんな未来像を描かせるかと問われたら……一九
アジア・太平洋の時代に溝上 泰／平和で、公害がなく、差別のない平等な社会を求めて
肥沼孝治／宇宙船地球号が危ないに中野重人／アイデンティティ再構成の契機に馬居
政幸／世界的なかんれんの中でこそ津田道夫

「1ページ情報」戦後史学習づくりの参考になる本とはと問われたら……四
歴史としての「戦後史」に星村平和／確かな現在認識につながる過去理解に奥住忠久／事実
をできるだけ客観的に捉えてみるに松本浩毅／自民族中心主義からの脱却を課題としてに
江岡史明／戦後の日本人の在り方生き方を考えるに日本人の正義感・外交感覚に西村公孝

「戦後史」の学習時間をどう生み出すか……二九
憲法学習から始めよう！に吉崎安浩／小中連携と三分野連携を縦・横軸にに中台
正弘／今の問題とつなげた単元づくりをに内山 隆／歴史を学ばせる目的を問
い返そうに野沢和彦／戦後史の学習時間を生み出すための教材の精選に福島 裕

「戦後史学習」でとりあげたい資料とはと問われたら

どんな「もの」をとりあげるか・私のベスト5……本間 昇／平 光雄……高
どんな「写真」をとりあげるか・私のベスト5……村井 俊之／棚橋 和明……元
どんな「統計数字」をとりあげるか・私のベスト5……安達 喜彦／大木 敏道……三
どんな「エピソード」をとりあげるか・私のベスト5……大澤 克美／中山 正則……呉
どんな「本」をとりあげるか・私のベスト5……田丸 淳哉／松井 淳……吾
どんな「映像」をとりあげるか・私のベスト5……谷田部玲生／佐長 健司……吾
▼「戦後史学習」でとりあげたい「人物」とはと問われたら
児童・生徒の選定にまかせよう
広い視野と「人間尊重」認識の育成……川崎 友行……英一……空
戦後の日本が忘れたもの「セノ」とその時代の人々……梅野 正信……空

経済大国の路線を選んだ池田勇人……宮原 武夫……六
吉田茂からPKOまでの国際貢献とは何か……長尾 皓二……六

▼「戦後史学習」でとりあげたい「事件」とはと問われたら
憲法・女と男・三つの戦争……二谷 貞夫……六
日本を変えた三つの戦争……田邊 源裕……七
高度経済成長から低成長へー経済成長理論でみる戦後経済史……福田 正弘……七
戦後史学習で民族問題を考える……別府 陽子……七
「石油ショック」から考える……石橋 昌雄……七

「特別授業」を組むとすれば「私の「戦後史学習」の構想はこれだ！」
「国土面積」でみる戦後の歴史……西尾 一……七
給食で戦後学習を作る……米満 裕……八
体験をとおして戦後史を学ぶ……波 巖……八
教科書問題で語る「日本は戦争の反省をしたのだろうか」……真柄 二郎……九
冷戦と外国との関係で授業を組む……中西 真……九

「戦後史学習」熱い論争を呼び込むテーマ一覧……善財 利治……六
授業をテーマで組むために……藤岡 信勝……三
戦後45年「戦後史学習」はどう論じられてきたか……今そのとらえ方を問い直す……

「連載講座」
「各県の副読本情報」17 広島県の巻・池野 範男……二六 愛媛県の巻・佐々田亨三……二七
「未来志向で社会科が変わる」提案型授業パッケージ「ジョン」99……福本 誠一……二九
「選択場面をとり入れた歴史学習」15年も続いた戦争……小西 正雄……二五
「水先案内 その5」歴史のなかの未来……北 俊夫……二九
「読上シンプウム」社会科の指導法・どこを変えるとよくなるか……七條 正典……二四
提言…複線型の学習指導案を作成する……
意見…「複線型」の学習指導案と学習の成立……

「リレー討論」今、社会科とは何かを問う……今谷 順重……二八
生活科と社会科、何をどう区別すべきか……岩田 一彦……二四
「ベテランをめざす社会科学研究」5……
社会諸科学の研究成果の生かす「その1」内容論……

●研究会案内 静岡大学教育学部附属浜松中学校……
*表紙写真II「モニター」扉・こんなの「御存知」アータに佐藤照雄／グラビア・社会科授業に使えるフォト
クイズII渡部栄二／表3・裏表紙の解答に有田和正、今月の教材單元一覽／裏表紙「このネタ」この発問でよ
いか」目次写真II佐藤浩樹

「学校のまわりの様子」の授業

